

第13回日本ポンペ病研究会

日時 ■ 2018年6月23日 (土) 13:30 ~ 18:30

会場 ■ 東京コンファレンスセンター品川 5F 大ホール

Program

[テーマ]ポンペ病早期診断 —それぞれの役割—

13:30-14:15 《患者会セッション》

座長：東京慈恵会医科大学

井田 博幸 先生
日本ポンペ病患者家族の会 岡崎 俊文 様 佐伯 淳二郎 様

14:30-15:00 《ポンペ病研究会招待 アジア若手医師による発表》

座長：国立精神・神経医療研究センター

西野 一三 先生

[Late onset Pompe Disease in China: hotspot and novel mutations]

Dr. Wenhua Zhu

Huashan Hospital, Fudan University, Shanghai, China

[Long term outcome and challenges of a late-onset Pompe

disease patient in resource limited setting]

Dr. Fu Liong Hiew

Kuala Lumpur Hospital, Kuala Lumpur, Malaysia

15:00-16:00 セッション1：「ポンペ病が鑑別すべき疾患として広く認識されるために」

座長：東京女子医科大学／大塚駅前診療所

大澤 真木子 先生

《症例についての発表》

「肝機能障害で経過観察されていたポンペ病の1例」

国立成育医療研究センター 小須賀 基通 先生

「ポンペ病と肝機能」

東京慈恵会医科大学

小林 博司 先生

《パネルディスカッション》

パネリスト：東京慈恵会医科大学

小林 博司 先生

東京女子医科大学

石垣 景子 先生

国立成育医療研究センター

小須賀 基通 先生

セッション2：「疑い・検査をすることから始まる ポンペ病の早期診断」

16:10-16:40 《講演1》

座長：神戸市立医療センター中央市民病院

幸原 伸夫 先生

「Ⅱ型呼吸不全からポンペ病の鑑別診断を行う重要性について」

立川総合病院

高野 弘基 先生

16:40-17:10 《講演2》

座長：国立精神・神経医療研究センター

埜中 征哉 先生

「遅発型ポンペ病ハイリスクスクリーニング：諸外国の報告と日本における調査研究」

国立病院機構東埼玉病院

尾方 克久 先生

17:20-18:20 《海外演者特別講演》

座長：財団法人 脳神経疾患研究所 東京慈恵会医科大学 衛藤 義勝 先生

[Approach for early diagnosis of muscle disease
including Pompe Disease in EU]

Professor Benedikt Schoser (ミュンヘン大学)

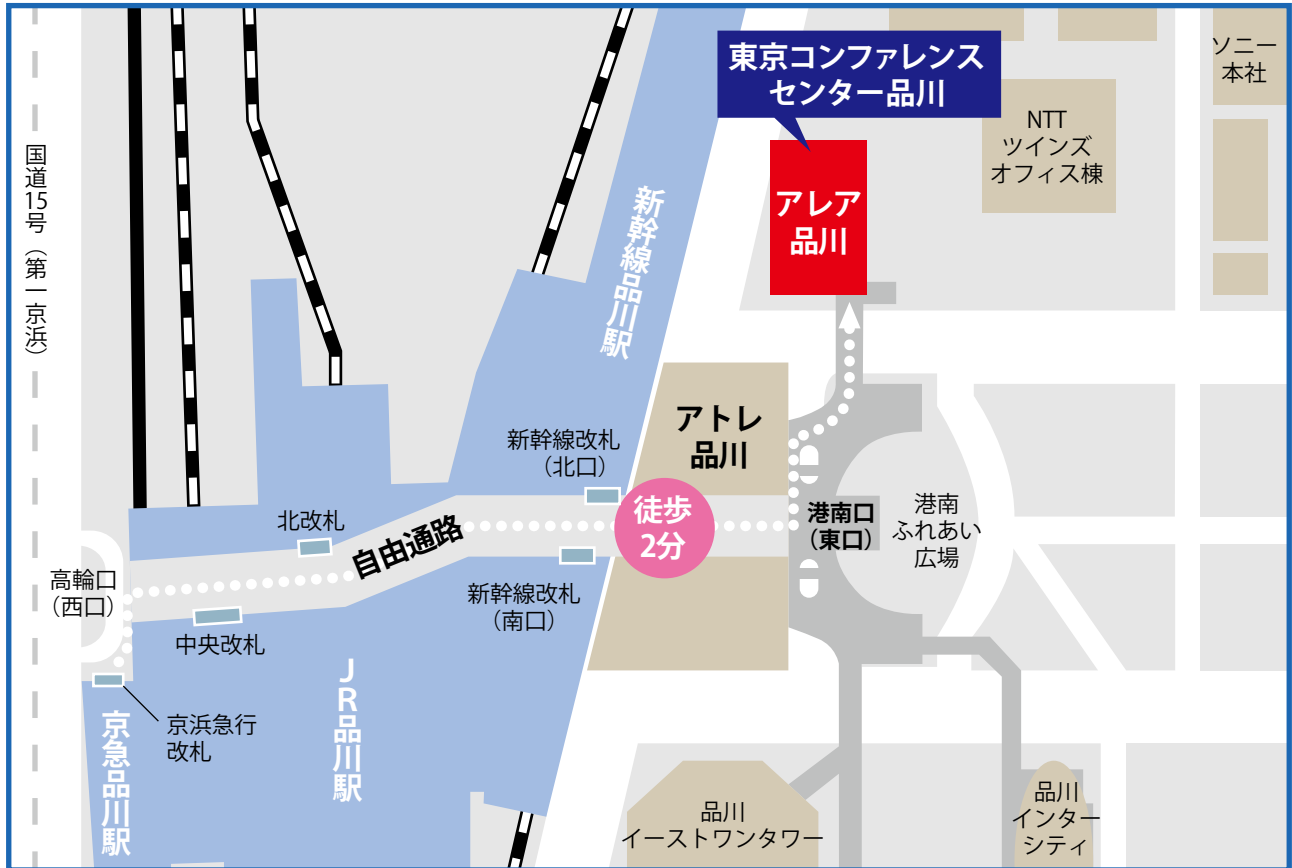
Klinikum der Universität München

SANOFI GENZYME 

共催：日本ポンペ病研究会／サノフィ株式会社

GZJP.MYOZ.18.05.0208
2018年5月作成

第13回日本ポンペ病研究会



東京コンファレンスセンター品川 5F 大ホール

東京都港区港南1-9-36 TEL : 03-6717-7000

アクセス

- 東海道新幹線、JR東海道線、JR山手線、京浜急行「品川」駅 港南口（東口）より徒歩2分
- 成田空港から約70分 ● 羽田空港から最短14分

参加申込方法

弊社参加登録システムよりお申込みいただけます。別添のWeb登録画面手順書に沿ってご登録いただけますようお願い申し上げます。